

想いをカタチに70年

～人と人を結び未来へつなぐ。いたばし福祉の森～



板橋区社会福祉協議会(以下、板橋社協とします。)は、昭和29年9月に任意団体として発足し、昭和40年の法人化を経て、本年創立70周年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆さま、福祉関係者や行政の皆さまの本会の理念や活動への温かいご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

板橋社協は創立以来、一貫して住民主体の理念に基づいて、地域の声をカタチにすべく支え合いの地域づくりを進めてまいりました。特に、既存の組織・制度だけでは対応が難しい地域生活課題に対して、地域の多様で柔軟な支え合いの活動と、専門職による支援が良好に協働できる体制を構築することを板橋社協の存在意義として尽力してまいりました。板橋には、このまちを愛し素敵なまちにしたいと、熱意を持って活動されている方が本当にたくさんいらっしゃいます。地域のあらゆる活動は、皆さまのやさしい気持ちや温かい想いの結晶です。

70年を振り返り、皆さま一人ひとりの尊い気持ちや想いの積み重ねが今の板橋を形作っているのだと切実に感じ、敬意と感謝は言葉では表現し

きれません。

創立60周年以降の10年を振り返りますと、地域福祉の大きな転換期であったと感じます。国が「地域共生社会」の実現を掲げるなか、地域社会はコロナ禍により日々の活動を制限され、つながりの分断により地域社会は危機的な状況に陥りました。

こうした状況の中、私たちは新しい地域の支え合いのあり方について協議・検討するために「いたばし地域支え合いサミット」を開催しました。そこで採択された共同宣言「あなたに ちょうどいい」には、一人ひとりが幸せを感じられる地域の実現のため協働して取り組んでいくという思いが込められています。この思いは第四次板橋区地域福祉活動計画に反映され、それぞれの「できること」を持ち寄り、みんなの「むずかしい」を解決することで、“あなたらしさ”が豊かな森の彩りのように映える地域づくりを進めるという、板橋社協の基本理念となりました。

この基本理念に基づき、私たちはこれまで以上に皆さまとの協議・協働を進め、ともに発展していきたいと考えています。70年間の皆さまからのご支援に心から感謝申し上げますとともに、これからの社協につきまして、より一層のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

会長あいさつ



社会福祉法人
板橋区社会福祉協議会
会長 相田 義正

いたばし社協キャラクターのご紹介

いたばし社協キャラクター「こころちゃん」



いたばし (itabashi) = i = 愛ある「福祉のまちづくり」をめざして誕生したこころちゃん。

ロゴは“こころ”の文字をつなぎ、“つながる心”をイメージしています。

これからも、いたばし社協と地域の皆さまとの“こころ”のつなぎ役として色々な場面で活躍していきます！

70周年記念キャラクター「ぶちこ」

いたばし社協創立70周年を記念して、7色の個性豊かな妖精たち「ぶちこ」が誕生しました。

人と人を結び未来へつなぐ妖精として、これから地域の皆さまにたくさんの i = 愛と笑顔をこころちゃんと一緒に届けていきます。

70周年記念ロゴは、「こころちゃん」と「ぶちこ」をつなげると「ハート」のカタチになります。

70周年の「想い」が皆さまに届きますように……。



70周年記念ロゴ

このたび、板橋区社会福祉協議会が創立70周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

70年の長きにわたり、社会福祉協議会の活動を支え、地域福祉向上にご尽力いただきました会員のみなさま、歴代の社会福祉協議会会長、役員のみなさまのご労苦に対し、深く感謝申し上げます。また、板橋区社会福祉協議会とともに地域福祉を担われてきた多くの区民のみなさま、町会・自治会や福祉団体、民生・児童委員のみなさま方に改めてお礼を申し上げます。

3年にも渡り区民生活・地域経済に多大な影響を及ぼしたコロナ禍がようやく終わり、街に活気が戻るとともに区の各種イベントを開催することが出来ております。しかし、全ての区民がコロナ前の生活に戻ったわけではございません。経済的な影響や地域との繋がりの断絶、複合的な要因による環境の変化など、コロナ禍の傷はいまだ癒えておりません。

さて、板橋区では基本構想で掲げる将来像「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」のバージョンアップを図るため、地

域の繋がりに重点を置いたまちづくりを進めております。板橋区社会福祉協議会には、地域の繋がりという分野において多大なるご貢献をいただいているところであります。具体的には、平成

板橋区長 祝辞



板橋区長
坂本 健

板橋区社会福祉協議会(=いたばし社協)がめざす地域とは……

基本理念

「あなたにちょうどいい～あなた“らしさ”で彩るいたばしを創ります～」

(地域共生社会の実現/包括的な支援体制の構築)

立場や状況が異なる人たちが心地よくつながり、それぞれの「できること」を分け合い、それぞれの「むずかしい」を解決することで、あなた“らしさ”が豊かな森の彩りのように映える地域づくりを進めています。

基本目標 1 (地域づくりに向けた支援)

気づきあう人と機会を増やし、
心地よくつながる

基本的方向
1

日常で見守る
気軽に関わる
地域で暮らす

基本的方向
2

混ざってつながる
暮らしでつながる
スキルでつながる

基本的方向
3

気づいた変化や地域課題に
向き合う
地域で取組む

基本目標 2 (相談支援)

みんなの「できること」を集め、
切れ目なく適切につながる

基本的方向
4

気づきから専門相談へ
困難な課題を受け止める
地域で受け入れる仕組みをつくる

基本的方向
5

災害へ備える専門職と
地域の連携

基本目標 3 (参加支援)

一人ひとりの多様性を認めあい、
あなたらしくいられる場を
増やしてつながる

基本的方向
6

人・場所・資源をシェアする

基本的方向
7

自身も他者もまるごと受容し、
自分らしさを発揮する

(第四次板橋区地域福祉活動計画 いたばし福祉の森2022-2025より抜粋)

社会福祉協議会(社協)とは？

社会福祉法に基づき、都道府県・市区町村に設置され、地域住民や福祉関係者の参加により民間の福祉活動を推進する中核的な役割を担う法人です。

Contents

会長あいさつ P.2

板橋区長祝辞 P.3

History of Itabashishakyo
for 70 years P.4

同年代はどうなんだい？！
70年目のいたばし社協
～ジモトの皆さまにQ&A～ P.8

地域を結ぶ！
チームいたばしネットワーク活動！ P.16

We are Itabashishakyo！ P.18

History of Itabashishakyo for 70 years

— いたばし社協が紡いだ70年 —

昭和29年度～平成29年度

昭和29年の創立から、地域のあらゆる課題と向き合い、地域の支え合い活動の応援、生活困窮者支援、孤立予防、障がい者支援、福祉教育、災害時の備えなど、様々な取り組みを展開してきました。



昭和

いたばし社協の活動とできごと

～ 創立から60年目まで ～

- 29年度
 - 任意団体として板橋区社会福祉協議会創立
 - 歳末たすけあい運動への協力開始
- 30年度
 - 世帯更生資金(現:生活福祉資金)事業開始
- 40年度
 - 厚生大臣から社会福祉法人の設立許可を受ける
- 41年度
 - 社協だより創刊
- 56年度
 - 国際障害者年記念「心身障害者スポーツ大会」実施
 - ひとり暮らし高齢者対象の給食サービス開始(平成12年度終了)
- 59年度
 - すこやかレクリエーション(児童養護施設)事業開始
- 61年度
 - 視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業開始(平成14年度終了)
 - 手話通訳派遣事業開始(平成11年度終了)
- 62年度
 - ハンディキャブ運行事業開始(平成28年度終了)



サポートぬくもり開始当時のパンフレット

- 3年度
 - 板橋ボランティアセンター開設(平成18年度～いたばし総合ボラセンへ)
- 4年度
 - 在宅福祉サービス(現:サポートぬくもり)開始
- 7年度
 - 板橋区地域福祉活動計画「いたばし福祉の森21」最終報告
- 8年度
 - 自動販売機設置事業開始
- 11年度
 - 地域福祉権利擁護事業開始
- 12年度
 - 新聞折込にて社協だよりの全戸配布開始
- 13年度
 - 介護保険居宅介護支援・訪問介護事業開始(平成17年度終了)
- 15年度
 - 支援費制度居宅介護事業所開設(現障害者総合支援法に基づく)
- 16年度
 - アクティブシニア就業支援センター(はつらつシニアいたばし)開設
- 17年度
 - 権利擁護いたばしサポートセンター開設
- 18年度
 - 介護保険認定調査事業 市町村事務受託法人認可取得
 - いたばし総合ボランティアセンター開設(平成22年度事務局運営終了) ※区民・NPO法人、区、社協四者協働運営
 - 板橋区地域福祉活動計画「新・いたばし福祉の森21」前期実施計画策定
 - 認知症高齢者等外出支援事業(ごいっしょサービス)開始(令和5年度終了)

- 19年度
 - 社協職員地域担当制開始
 - 会報「福祉の森」発行開始
 - 福祉の森映画上映会開始
 - 福祉の森サロン活動助成事業開始
- 20年度
 - 第1回いたばし社会福祉大会開催
 - ぬくもりサービス(現:サポートぬくもり)子育て応援サービス開始
 - いたばし福祉移動支援センターすいっと開始(平成22年度終了)
 - 福祉の森チャレンジ助成金開始
 - 板橋町連支え合い事業開始



第1回いたばし社会福祉大会の様子

主な福祉のできごと 社会のできごと

- 昭和26年
 - 社会福祉事業法施行
 - 中央社会福祉協議会創立(日本社会事業協会、同胞援護会、全日本民生委員連盟合同)
 - 東京都社会福祉協議会創立
- 38年
 - 老人福祉法施行
- 50年
 - 障害者の権利宣言(国連総会)
- 58年
 - 区市町村社協を法制化
- 平成元年
 - 高齢者保健福祉推進10ヵ年戦略(ゴールドプラン)策定
- 2年
 - 福祉関係八法改正
- 5年
 - 心身障害者対策基本法が障害者基本法へ改正
- 6年
 - 新ゴールドプラン策定
- 7年
 - 阪神淡路大震災
- 10年
 - 改正児童福祉法施行
- 12年
 - 社会福祉事業法が社会福祉法へ改正
 - 成年後見制度施行
 - 介護保険制度施行
 - 児童虐待防止法施行
- 15年
 - 障害者支援費制度施行
- 16年
 - 改正児童虐待防止法施行
 - 改正障害者基本法施行
 - DV法改正施行
 - 年金制度改革
 - 新潟県中越地震
- 17年
 - 発達障害者支援法施行
 - 改正児童福祉法施行
- 18年
 - 介護保険法改正
 - 障害者自立支援法施行
 - 高齢者虐待防止法施行
- 19年
 - 「消えた年金」問題
 - 新潟県中越沖地震
- 20年
 - 「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」の報告により、地域における「新たな支え合い」への一定の方向性が示される。
 - 後期高齢者医療制度施行
 - 改正老人福祉法施行

- 21年度
 - 法人後見事業開始
 - 生活福祉資金貸付制度全面改正
 - 「新・いたばし福祉の森21」中期実施計画策定
- 22年度
 - ユニバーサルキッズすまいるコンサート開始
- 23年度
 - 避難者の孤立化防止事業開始
 - 地域活動サロン「ハッピースクエア」開設
- 24年度
 - 共同募金板橋地区配分推せん委員会設置
 - 福祉の森サロンリーダー養成講座実施
 - 「新・いたばし福祉の森21」後期実施計画策定
- 25年度
 - 板橋安心ネット事務局運営開始
 - 板橋区介護サービス全事業所連絡会事務局運営開始
- 26年度
 - いたばし地域応援プロジェクト開始
 - ゆるやかご近助さん養成講座開始



ゆるやかご近助さん養成講座パンフレット

60周年

～ 61年目からの歴史 ～

平成27年度

・板橋区生活支援体制整備事業開始



地域特性を生かした協議の場

各地域におけるセミナーと複数回の準備会を経て、平成30年度に全18地域に第2層協議体を設置完了しました。

- いたばし社協職員行動指針制定
- 第一次地域福祉推進戦略策定
- 板橋区受験生チャレンジ支援貸付事業の事務一部受託開始
- アクティブシニア就業支援センター「おしごと情報サイト」開設
- 第6代目会長に相田義正就任

平成28年度

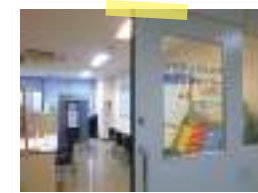
- 社協の常設拠点「さーどふれいす@まもりん坊ハウス」開設
- 第三次板橋区地域福祉活動計画「いたばし福祉の森2017-2021」策定
- 板橋区社会福祉法人施設等連絡会事務局運営開始
- ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業開始
- いたばし支え合い会議(第1層協議体)立ち上げ



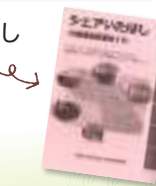
平成29年度

・アクティブシニア就業支援センター高島平分室開設

高島平ふれあい館内に分室開設！
開設当時から高島平エリアのシニア就労支援の拠点として活用されています。
丁寧な相談対応が求職者に好評です。



- 板橋区社会福祉法人施設等連絡会「シェアいたばし－社会福祉資源ガイド－」発行



- 21年 改正障害者自立支援法施行
- 23年 改正障害者基本法施行
東日本大震災
福島第一原発事故



福島県富岡町おだがいさまセンターとの交流事業

- 24年 障害者虐待防止法施行
- 25年 障害者総合支援法施行



避難者の孤立化防止事業交流会の様子

平成27年度

- 4月 介護保険制度改正
- 4月 生活困窮者自立支援制度施行
- 10月 マイナンバー法施行
- 12月 認定介護福祉士制度開始
- 3月 安全保障関連法施行



平成28年度

- 4月 改正社会福祉法施行
- 4月 改正障害者雇用促進法施行
- 4月 熊本地震
- 6月 「ニッポン一億総活躍プラン」閣議決定(「地域共生社会」の実現)
- 7月 津久井やまゆり園事件
- 7月 小池氏都知事就任
- 8月 リオデジャネイロ夏季五輪

平成29年度

- 4月 改正社会福祉法施行
- 5月 民生委員制度100周年
- 7月 九州北部豪雨
- 12月 天皇退位正式決定
- 2月 平昌冬季五輪



民生委員制度100周年記念パレードの様子

History of Itabashishakyo for 70 years

— いたばし社協が紡いだ70年 —

平成30年度～令和6年度

そして、この10年間は今まで以上に力を入れて、“地域住民、専門職、企業、行政等と連携し、それぞれ
これからも、板橋をより良くしたい！”という想いを

が得意な部分を活かして地域の様々な困りごとを解決していく地域づくり”に取り組んできました。
一つに、皆さまと地域づくりを進めてまいります。



平成30年度

いたばし社協の活動とできごと

・愛媛県宇和島市に職員1名を災害派遣(西日本豪雨)

復興にむけたサロン活動支援

「平成30年7月豪雨(西日本豪雨)」に伴う
「愛媛コミュニティ支援プログラム」へ
職員を派遣しました。



- ・我が事・丸ごと地域共生社会推進本部設置
- ・子どもの居場所づくり活動支援事業開始
- ・支え合い会議(第2層協議体)を区内全18地域に設置

・いたばし総合ボランティアセンター事業運営開始



いたばし総合ボランティアセンターの運営開始

本町にある旧板橋第三小学校の施設を
活用し、ボランティア・市民活動の拠点として
運営しています。

- ・第二次地域福祉推進戦略策定
- ・板橋こどもシアター開催(協同:私立保育園園長会)
- ・子どもの居場所ホームページ開設
- ・さーどぶれいす@まもりん坊ハウスで「かみいたボラセン」開始
- ・千葉県鋸南町に職員1名を災害派遣(台風15号)
- ・栃木県佐野市に職員2名を災害派遣(台風19号)

・新型コロナウイルス特例貸付特設窓口設置 (令和4年9月まで)

全国の社協で特例貸付を実施

一時金の「緊急小口資金」と、生活再建の
ための「総合支援資金」があり、板橋区で
は3万件を超える申請がありました。



・「食」からつながる応援プロジェクト食品配付会開始



「食」からつながる応援プロジェクト

生活にお困りの世帯へ企業・団体・社会福祉法人
などからご寄附いただいた食品を配付。
地域の支えに感謝の声が寄せられました。

・いたばし地域支え合いサミット開催

共同宣言 あなたにちょうどいい

コロナ禍で地域活動が制限される中、つながり
の大切さを再確認し、地域共生社会の実現
のため協働することを宣言しました。



- ・街頭募金実施(令和2年7月豪雨)
- ・ひとり親家庭職業訓練貸付「住宅支援資金貸付」追加実施

主な福祉のできごと 社会のできごと

平成30年度

- 4月 改正社会福祉法施行
- 4月 改正介護保険法施行
- 4月 障害者総合支援法・児童福祉法
一部改正法施行
- 4月 改正障害者雇用促進法施行
- 6月 大阪府北部地震
- 9月 北海道胆振東部地震
- 7月 西日本豪雨



平成31年度・令和元年度

- 5月 元号が令和に変わる
- 9月 ラグビーW杯日本大会開催
日本初の8強入り
- 9-10月 東日本で台風大雨被害
(15号千葉大停電／
19号各地で浸水害)



災害派遣の様子(栃木県佐野市)

令和2年度

- ・新型コロナウイルスの世界的感染拡大・蔓延
- 4月 緊急事態宣言発令
- 4月 改正障害者雇用促進法施行
- 7月 九州豪雨、熊本・球磨川氾濫



街頭募金実施時の様子
(令和2年7月豪雨被災地支援)

～コロナ禍での活動～



コロナ禍でも工夫して
サロンを開催!

支え合い会議は
会えなくてもZoomで
情報交換会♪



令和3年度

・支え合いスポット運営支援開始



地域の支え合いを実践する活動拠点

現在、7地域でスポットが展開されています。
場所や担い手等の準備が整い次第、各地域で
設置を進めています。

- ・第三次地域福祉推進戦略策定
- ・いたばし地域支え合いサミットII開催
- ・「ともに生きる豊かな地域社会の実現をめざして
～いたばし社協版 SDGsの取り組み～
2021-2025」策定
- ・第四次板橋区地域福祉活動計画「いたばし福祉の森
2022-2025」策定
- ・コロナ禍対応地域福祉活動助成金交付
- ・権利擁護いたばしサポートセンターを成年後見
制度利用促進計画の中核機関と位置づけ



令和4年度

・さーどぶれいす@まもりん坊ハウス移転・再オープン

商店街事務所内に移転しました!

オープニングイベントには、地域の方も大勢
参加してくださいました。常設拠点として、
各種相談に対応しています。



- ・コミュニティソーシャルワーク事業プロジェクト開始
- ・街かどフードパントリー(常設型のフードパントリー)開設



23区内初の常設型フードパントリー

街かどフードパントリーはひとり親や生活困窮
世帯等を対象とした食品・相談支援事業です。
配付食品は企業・団体・社会福祉法人からの
ご寄附によるものです。

・地域つながり隊推進事業開始

地域で支え合う「なんでも相談」!

地域つながり隊推進事業では、仲連根会館を
拠点にモデル地区で分野や対象を問わず、
「なんでも相談」を行っています。
皆さまの活動の場にも出向きます。



- ・こんにちは。たからっこお届け便。開始
- ・街頭募金実施(令和6年能登半島地震)

令和6年度

- ・4課10係始動(組織改正)
- ・プロジェクト×(カケル)開始
- ・食品アクセス緊急対策事業開始
- ・機材こびカ事業開始
- ・ぬくもりサービスを「サポートぬくもり」に名称変更
- ・板橋区との職員相互派遣交流開始
- ・石川県輪島市へ職員2名を災害派遣(令和6年能登半島地震)
- ・被災地の視察に職員2名を派遣(令和6年能登半島地震)



令和6年能登半島地震の被災地視察

令和3年度

- 4月 改正社会福祉法施行
- 7月 静岡県熱海市土砂災害
- 7月 東京夏季五輪・パラ五輪開催
(1年延期)
- 9月 岸田氏首相就任
- 2月 北京冬季五輪



いたばし地域支え合いサミットIIにて共同宣言
「あなた“らしき”で彩るいたばしを創ります」を採択

令和4年度

- 4月 改正民法施行 成人年齢を18歳へ
- 7月 安倍元首相銃撃事件
- 3月 WBCで日本が
14年ぶりに優勝



令和5年度

- 4月 障害者雇用促進法改正・施行
- 4月 こども基本法施行・こども家庭庁発足
- 5月 新型コロナウイルス5類移行
- 5月 広島でG7サミット開催
- 6月 LGBT法施行
- 1月 認知症基本法施行
- 1月 能登半島地震



街頭募金実施時の様子
(令和6年能登半島地震被災地支援)

令和6年度

- 4月 改正障害者総合支援法施行
- 4月 改正障害者差別解消法施行
- 4月 障害者雇用促進法改正・施行
- 4月 改正児童福祉法施行
- 4月 孤独・孤立対策推進法施行
- 7月 パリ夏季五輪・パラ五輪開催
- 9月 高齢社会対策大綱閣議決定

同年代は どうなんだい？！

70年目のいたばし社協

ジモトの
皆さまに
Q&A

いたばし社協70周年を記念し、70年目の今、各係が取り組んでいる事業についてご紹介いたします。今回は、各係にゆかりのある「いたばし社協と同じ時代を過ごしてきた板橋区民の皆さま」へのインタビューも添えて、各係の活動を、より深くお伝えします。

- 経営企画課 -

いたばし福祉の森 推進委員会 (法人運営事業)

福祉の森の理念である豊かな森の生態系のように、地域住民等が互いに支え合い、つながり合い、地域で共生していく地域福祉を推進します。板橋区地域福祉活動計画の策定や進行管理を通して、板橋区における「あなたにちょうどいい」地域共生社会の実現をめざします。

経営企画係
内田・土生・井畑



インタビュー

- Q 社協とのエピソードや推進委員活動の思い出を教えてください
- A 地域共生社会の実現を図式化した時のこと。相談支援領域と参加支援領域のつながりを電車とレールに見立て、地域づくりに向けた支援領域に乗り入れる図を考えてくれたのは小学生でした。お見事！

- Q 「社協のカラー」といえば何色ですか？
- A 青

- Q 社協の好きなところを教えてください
- A 地域密着の温もりを届けてくださるところ

- Q 70年間健康で過ごすあなたの「元気の源」は何ですか？
- A 「ありがとう」の交歓

- Q これからどんな板橋になってほしいですか？
- A ゆるやかに助け合い支え合う板橋



いたばし福祉の森推進委員 委員長
深町 聡子 さん



計画策定に向け
丁寧な協議を積み重ねました

災害ボランティアセンター
運営訓練の様子



ボランティア・NPO活動活性化事業

ボランティア活動を希望する人や団体と困っている人・地域を結ぶコーディネートを行っています。人々の暮らしが多様化、複雑化する中で、ボランティアの力が求められています。様々な団体や人と連携し、新たな活動を創出しながら、より良い地域づくりをめざしています。

いたばし総合ボランティアセンター
木村



ホームページ



X(旧Twitter)



Instagram



Facebook

地域福祉権利擁護事業

判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用に関する相談援助や日常的な金銭管理・書類の預かりを行う事業と、権利擁護に関すること・成年後見制度の利用相談などを実施しています。また、チーム支援検討会議を設置し、課題の整理や解決に向けた方向性を協議する取り組みも始めています。

権利擁護いたばし
サポートセンター
丹野・山田



ただいま会議中！

区民向けの講演会を
実施しています



生活支援員
安藤 一恵 さん

利用者宅に定期訪問し
支援を行っています

- Q 社協とのエピソードや生活支援員の活動での思い出を教えてください
- A 義母の介護をするにあたり、介護スタッフ、家族の協力と社会資源も利用し、14年間介護することができました。その経験を生かし、お役に立つことができたと思い生活支援員になりました。

- Q 「社協のカラー」といえば何色ですか？
- A 赤

- Q 社協の好きなところを教えてください
- A 全てに一生懸命取り組まれている姿勢

- Q 70年間健康で過ごすあなたの「元気の源」は何ですか？
- A 何があっても前向きになれる心

- Q これからどんな板橋になってほしいですか？
- A 誰もが住みよいまちをめざす

- Q 社協とのエピソードやボランティア活動での思い出を教えてください
- A 区民まつりでワークショップを企画し、メンバーを集めて実施したことをきっかけに、グループを立ち上げました。あのときの職員からの声掛けがいまにつながっています。

- Q 「社協のカラー」といえば何色ですか？
- A 赤・オレンジ・黄・緑・青・藍・紫・ピンク

- Q 社協の好きなところを教えてください
- A 地域と行政の中間で柔軟なところ

- Q 70年間健康で過ごすあなたの「元気の源」は何ですか？
- A 私の周りの人たちの笑顔のおかげ

- Q これからどんな板橋になってほしいですか？
- A 誰もが心豊かに暮らせる板橋に

NPO法人いたばし子育て支援・フラワー 理事長
松村 良子 さん



結まつり100人会議で
アイデアを出し合いました



- 地域福祉課 -

子どもの食・居場所支援事業

「子どもたちが安心して過ごせる居場所＝子どもの居場所」を支援しています。
 地域の皆さま、企業、支援団体、関係機関などと連携・協働し、居場所の数も活動の幅も広がりを見せています。また、食品配付会や街かどフードパントリーの運営も行っています。



ホームページ



居場所づくり推進係 佐藤



みんなで過ごす
楽しい時間♪



様々な体験・イベントも
開催！

誰もが参加しやすい
筋トレ中



＼ 集中して折紙を折ることも /

福祉の森サロン活動支援事業

福祉の森サロンは、すべての方が「孤立」や「閉じこもり」にならないよう“誰もが気軽に参加できる地域の集いの場”です。「笑顔」「元気」「思いやり」を合言葉に、「知りあい」「見守りあい」「つなぎあい」の【3あい活動】を応援しています。

居場所づくり推進係 桜井



Q 社協とのエピソードや子どもの居場所活動での思い出を教えてください

A 10年以上続く子どもの居場所活動で特に印象深いのは、コロナ禍で疲弊する地域のみんなのために、ほぼ毎日お昼ごはんを提供し、少しでも気持ちを軽くしてもらえたことです。

Q 「社協のカラー」といえば何色ですか？

A オレンジ



Q 社協の好きなところを教えてください

A 同じ目線に立って、相談ができる場所

Q 70年間健康で過ごすあなたの「元気の源」は何ですか？

A 何事も前向きに考える、子どもたちとの交流

Q これからどんな板橋になってほしいですか？

A 地元の力と新しい力が融合した明るいまち

NPO法人みんなの広場 カフェひびき 代表

秋元 すがよさん



みんなで“思いやり”のハンドサイン

サポートぬくもり

(住民たすけあいサポート事業)

いたばし社協70周年の節目となる今年、「ぬくもりサービス」は「住民たすけあいサポート事業サポートぬくもり」へ名称を変更しました。これまで培ってきた30年あまりの経験をもとに、会員同士がともに支え合い助け合う「ぬくもりフル」な活動にご期待ください！



おいしく召し上がって
もらうために...



地域でサポート推進係 中島



各地域の
担当コーディネーター☆

インタビュー

Q 社協とのエピソードやサポートぬくもりの活動での思い出を教えてください

A 主人を送った後ぬくもりに参加し色々な方と出会いました。水玉をドットと言うお年を感じさせないおばあちゃん。「斜めは無効ですよ」と印鑑の押し方を教えてください。今でも毎回新鮮です。

Q 「社協のカラー」といえば何色ですか？

A 青



Q 社協の好きなところを教えてください

A あたたかみのあるやさしさで接してくれる

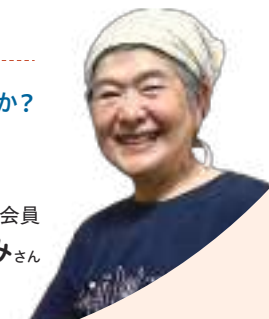
Q 70年間健康で過ごすあなたの「元気の源」は何ですか？

A 前向きに考える！ みんなで楽しく！

Q これからどんな板橋になってほしいですか？

A 不安の少ない町、やさしい町

サポートぬくもり 協力会員
鳥越 あけみさん



Q 社協とのエピソードやサロン活動での思い出を教えてください

A 福祉の森サロンを立ち上げて14年。出会いもあれば別れもあり様々。東日本大震災が起こったその時、私達はサロン活動の真っ只中、衝撃的でした。みんな一緒に良かったと声をかけ合いました。

Q 「社協のカラー」といえば何色ですか？

A ピンク



Q 社協の好きなところを教えてください

A 困っている方によりそう、人の声を大切に

Q 70年間健康で過ごすあなたの「元気の源」は何ですか？

A 人との出会い大切に、趣味多く

Q これからどんな板橋になってほしいですか？

A 思いやりのある、安心できる街

福祉の森サロン
赤塚みんなの会 代表
荒井 ふじさん



利用会員さんと一緒に♪

－ 地域共生課 －

支え合い会議 (板橋区生活支援体制整備事業)

各18地域の支え合い会議で支え合いの仕組みづくりについて協議し、地域住民、専門職、企業の皆さまと一緒に、暮らしやすい地域づくりを進めています。世代や分野を超えて、誰でも気軽に得意なことを持っている力を発揮し、参加できる地域をつくります。



地域共生推進係
田村



定例会では情報共有や
活動検討を進めています



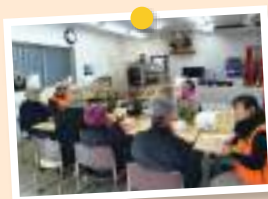
わくわく桜川では、
多様な活動を展開



てくてく会を毎月開催

さーどぶれいす@まもりん坊ハウス
 (地域拠点事業)

上板南口銀座商店街×支え合い会議常盤台×いたばし社協の連携により、社協職員の常駐する「地域の居場所・交流の場」です。買い物時のひと休みとしてご利用いただけるほか、日常のちょっとした困りごとについてお話を伺います。ぜひ気軽にお立ち寄りください。



お気軽に
お立ち寄りください！

地域共生推進係
榊



- Q 社協とのエピソードや支え合い会議での思い出を教えてください
- A 平成28年10月から半年かけ、桜川地区6町会からの選出メンバー、いたばし社協・おとセンメンバーと喧々諤々の議論を重ね支え合い会議桜川を立ち上げたことが思い出です。

- Q 「社協のカラー」といえば何色ですか？
- A 赤・黄・緑・青・ピンク

- Q 社協の好きなところを教えてください
- A 気さくに話しかけられるところ

- Q 70年間健康で過ごすあなたの「元気の源」は何ですか？
- A スポーツ観戦と適度な運動

- Q これからどんな板橋になってほしいですか？
- A 住民に優しいまち

支え合い会議桜川
第2層生活支援コーディネーター
大野 泰彦さん



インタビュー



仲連根会館が
活動拠点です

- Q 社協とのエピソードや支え合いスポットの活動での思い出を教えてください
- A 支え合いスポットのなんでも相談では、住民からの様々な相談に対応してもらっています。身近な場所でいつでも相談できることが、つながり隊の取り組みのいいところです。

- Q 「社協のカラー」といえば何色ですか？
- A ピンク

- Q 社協の好きなところを教えてください
- A 福祉の専門家集団

- Q 70年間健康で過ごすあなたの「元気の源」は何ですか？
- A 定年後のボランティア活動

- Q これからどんな板橋になってほしいですか？
- A 気配りで共助の街



地域の皆さまと
取り組んでいます

連根地域
スポットコーディネーター
工藤 一夫さん



令和5年に
現在地へ移転しました



連携して
進めています

インタビュー

1 2 3

まえ合いスポットで
みんなと脳トレ



地域つながり隊推進事業
 (地域福祉コーディネーターモデル配置事業)

令和5年度より、志村坂上、蓮根、舟渡地区で、地域つながりづくり推進員(地域福祉コーディネーター)が配置されました。暮らしの中で起こる困りごとや気になることを、地域の皆さまや専門職等と連携・協働しながら、地域で支え合う仕組みづくりに取り組んでいます。



地域つながり隊推進係
渡邊



- Q 社協とのエピソードやさーどぶれいす@まもりん坊ハウスでの思い出を教えてください
- A 70周年おめでとうございます。社協さんが私ども商店街で活動を始められたのが平成28年6月でした。商店街の「トリプルAAAプロジェクト」もこれからも喜ばれるよう連携しながら続けましょう。

- Q 「社協のカラー」といえば何色ですか？
- A オレンジ

- Q 社協の好きなところを教えてください
- A 皆さま一生懸命

- Q 70年間健康で過ごすあなたの「元気の源」は何ですか？
- A 何事も楽しんでやる

- Q これからどんな板橋になってほしいですか？
- A 子どもから大人まで住んで良かったまち

上板南口銀座商店街振興組合
理事長

比留間 邦昭さん

インタビュー



- 相談支援課 -

介護保険要介護認定調査 (介護保険適正推進事業)

板橋区からの委託を受け、介護保険要介護認定調査を行っています。介護や福祉の現場を経験した認定調査員が自宅や病院、福祉施設を訪問し、介護を必要とする方の心身の状態や介護の状況を中立公正な立場で調査しています。地域で活躍する認定調査員の皆さまの協力のもと、年間約10,000件の調査を行っています。

事業推進係
 西山



動作確認も
 大切な調査です



インタビュー

認定調査員
 菊池 秀子 さん



お仕事検索中...



就職支援イベントも実施しています！



就職活動のお悩みも
 伺います



はつらつシニアいたばし (アクティブシニア就業支援事業)

概ね55歳以上の再就職をめざすシニアの皆さまとシニア雇用に積極的に取り組んでいる企業との橋渡し役を担う地域密着型の無料職業紹介所です。求職・求人相談、職業紹介、多様な働き方などの情報提供を実施しています。社協本部と高島平分室で来所をお待ちしています♪

はつらつシニアいたばし登録者
 宮内 ミツ子 さん



おしごと情報サイト

インタビュー

- Q 社協とのエピソードやはつらつシニアいたばしでの就職活動の思い出を教えてください
- A 「元気なうちは働きたい!!」という想いで就職活動をしています。シニアの就活は厳しい現状もありますが、社協職員の応援に支えられ、前向きに就職活動を続けることができています。
- Q 「社協のカラー」といえば何色ですか？
- A 青
- Q 社協の好きなところを教えてください
- A 気軽に頼りやすく、親しみやすい
- Q 70年間健康で過ごすあなたの「元気の源」は何ですか？
- A ポジティブ思考と規則正しい生活
- Q これからどんな板橋になってほしいですか？
- A シニアになっても働き続けることができるまち



- Q 社協とのエピソードや認定調査員活動での思い出を教えてください
- A 認定調査に伺った際、日常生活について話してもらえると、きちんと自分の思いを伝えてくださり、「今日は久しぶりに話ができてよかった」と言ってくれるのを聞くと安心します。
- Q 「社協のカラー」といえば何色ですか？
- A 藍
- Q 社協の好きなところを教えてください
- A 働きやすいように配慮してもらえる
- Q 70年間健康で過ごすあなたの「元気の源」は何ですか？
- A 仕事も趣味も充実した生活を送れていること
- Q これからどんな板橋になってほしいですか？
- A 一人暮らしの人が安心して生活できるまち



つぎの訪問調査へ
 出発します！



相手の話を
 じっくり伺います



イベントで
 活動PR!



お困りごとを
 うかがいます



地域の身近な相談役です

生活福祉資金貸付事業

福祉資金係では、低所得世帯、障がい者や介護を要する高齢者のいる世帯に対しての貸付を行っています。この事業は、貸付を通して生活相談に応じ、民生委員・児童委員と車の両輪となって世帯の自立を支援する制度です。令和2年コロナ禍の特例貸付実施時は、想定外の相談・申請があり“オールいたばし社協”で取り組みました。

地域の方々のお困りごとのご相談に応じ、関係機関へつなぐかけ橋の役割を担っています。



板橋区民生・児童委員協議会 会長
 福司 慶子 さん

福祉資金係
 平川



地域を結ぶ！チームいたばしネットワーク 活動！

板橋区社会福祉法人施設等連絡会（社福連）



ホームページ



フードドライブ

区内の社会福祉法人が、「地域における公益的な取組」を効果的・一体的に実施し、地域社会へ貢献することを目的に、平成28年6月に設立された連絡会です。それぞれの「できること」を持ち寄り、地域課題に「オール板橋」で取り組むことをコンセプトとしています。



事務局担当
一島



バレーボール大会

代表幹事
坂本 寛さん

- Q 今後の使命や意気込みをお聞かせください。
A 貴協議会と地域住民の方々及び専門職としての当連絡会が一体となり、地域共生社会の更なる実現をめざします。
- Q 70周年を迎えるいたばし社協へのメッセージをお願いします。
A 貴協議会創立70周年、誠におめでとうございます。

板橋区介護サービス全事業所連絡会（全事連）



事務局担当
中村・浅井

板橋区内で活動する介護・医療系サービス113事業所が加入しています。主な活動は、介護・医療提供側の「お困りごと」を解決し、充実した仕事環境づくりのお手伝いです。その結果、サービスを利用される方が安心して暮らせる地域社会づくりをめざしています。



歯科衛生士専門学校介護実習指導

- Q 今後の使命や意気込みをお聞かせください。
A 多くの方々の笑顔を見るため、変化の激しい社会情勢を楽しみながら様々な工夫をご提案いたします。
- Q 70周年を迎えるいたばし社協へのメッセージをお願いします。
A 今後もワクワクする未来と地域の創生活動を応援しています。



代表
角田 亘さん



役員会の様子

板橋安心ネット



ホームページ



障がい者記念行事にて



ふくしかみしばいの様子

代表
渡辺 理津子さん

板橋安心ネットは、当事者の各種団体や親の会、特別支援学校PTA、障がい者施設などの皆さまが連携して平成15年に立ち上げた団体です。知的障がい・発達障がいのある人たちの多くを皆さまに理解していただき、誰もが安心して暮らせるまちづくりをめざした活動を進めています。



事務局担当
磯部

- Q 今後の使命や意気込みをお聞かせください。
A 住み慣れた板橋で障がいがあっても安心して暮らしていけるように、ネットワーク構築をさらに進めていきたいと思っています。
- Q 70周年を迎えるいたばし社協へのメッセージをお願いします。
A これまでの70年の歩みに感謝して、更なる飛躍をお祈りいたします。

板橋区民生O・B友の会



事務局担当
横山

板橋区民生O・B友の会は、昭和59年に発足しました。板橋区の福祉推進に多大なご尽力をいただいた民生・児童委員の方々の退任後の情報交換や親交を深める場として活動しています。毎年、日帰り親睦研修旅行や懇親会など楽しく有意義な時間を過ごしています。



総会&懇親会の様子

- Q 今後の使命や意気込みをお聞かせください。
A 私達、板橋区民生O・B友の会も会員の皆さま方のご支援のもと、本年で40周年を迎えました。今後とも現役の皆さまとも交流を図りながら、地域福祉の発展に努めてまいりたいと思います。
- Q 70周年を迎えるいたばし社協へのメッセージをお願いします。
A 創立70周年、誠におめでとうございます。今後とも板橋区の福祉の伸長発展にご期待を申し上げます。



日帰り親睦旅行
山梨県に行ってきました！



代表
杉田 佳信さん



あなたのあたたかいお気持ちが、板橋区の福祉のまちづくりの大きな一歩に

いたばし社協 会員募集中!!

会員制度とは？

いたばし社協が推進する地域福祉活動に参加・応援していただくとともに、財政面からご支援いただくものです。地域の皆さまとともに地域福祉を推進するための制度です。

社協会費
(4/1～翌年3/31までの年額)

会費によって支えられています。

個人会員 1口 1,000円～
団体会員 1口 5,000円～

社協会員の
6つの特典

- ① いたばし社協会報「福祉の森」送付
- ② 福祉の森サロンマップ(区内約300か所掲載)送付
- ③ 福祉の森映画上映会優先申込
- ④ サポートぬくもり利用会員年会費免除(ひとり1,000円)
※ご利用については別途手続きあり。※個人会員特典
- ⑤ 行事用機材(綿菓子機等)の無料貸出 ※団体会員特典
- ⑥ 会員粗品「ライト付ホイッスル(令和6年度)」をプレゼント

【問合せ】経営企画係 TEL:3964-0235

We are Itabashishakyo!



板橋区社会福祉協議会
組織図と主な事業

[評議員会]

評議員

[理事会]

会長

副会長

理事

常務理事

監事

事務局
局長

事務局
次長

事務局長
久保田 義幸



本ページでは、皆さまとともに地域づくりを進める個性あふれるいたばし社協のメンバーをご紹介します。職員一人ひとりが誠実に地域と向き合い、意欲的に業務に取り組んでいます。これからも皆さまと信頼関係を育み、地域に根差した組織であり続けるよう、職員一同精進してまいります。

経営企画課



経営企画係

- 法人運営事業
- 助成事業
- 歳末たすけあい
- 共同募金
- 収益事業
- プロジェクトX(カケル)
- 社福連事務局
- 民生O・B友の会事務局

地域の皆さまの
想いをカタチに
できる社協の
実現に精一杯
努めてまいります。



権利擁護いたばしサポートセンター

- 地域福祉権利擁護事業
- 権利擁護センター事業

地域で安心して
生活できるように
権利擁護の
相談支援をします！



いたばし総合ボランティアセンター

- ボランティア・NPO活動活性化事業
- 板橋区公文書館管理委託

人や地域の思いを
つなぎ、ともに
地域課題の解決を
めざします。

地域福祉課



居場所づくり推進係

- 福祉の森サロン活動支援事業
- 福祉の森映画上映会
- 避難者の孤立化防止事業
- がんばろう！いたばしつながるプロジェクト
- 子どもの食・居場所支援事業

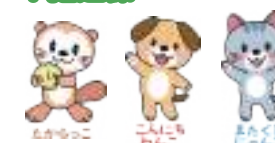
居場所づくりを通じ、
立場を超えた
様々な出会いを
大切にします！



地域でサポート推進係

- 住民たすけあいサポート事業(サポートぬくもり)
- 支援対象児童等見守り強化事業(こんにちは。たからっこお届け便。)

地域の皆さまと協力し、
「ともに生きる
豊かな地域社会」を
めざします。



ミンジー
民生委員・児童委員・
主任児童委員
イメージキャラクター

こころちゃん

地域共生課



地域共生推進係

- 板橋区生活支援体制整備事業
- 支え合い拠点推進支援事業(スポット)
- さーどぶれいす@まもりん坊ハウス
- ゆるやかご近助さん養成事業
- ユニバーサルキッズすまいるコンサート
- 協働事業
- 全事連事務局

皆さまがそれぞれの
得意分野を生かせる
地域づくりを進めます！



さーどぶれいす担当 (地域共生推進係)

私たちが日常の
ちょっとした困りごとを
伺います。



地域つながり隊推進係

- 地域福祉コーディネーターモデル配置事業(地域つながり隊推進事業)

皆さまの困りごとを
一緒に考え、
地域で支え合う
仕組みづくりに
取り組みます。

相談支援課



事業推進係

- 介護保険要介護認定調査
- 障がい福祉サービス事業
- 板橋安心ネット事務局

地域を支える
認定調査員や
ヘルパーの皆さまと
ともに事業を
推進していきます。



福祉資金係

- 生活福祉資金貸付事業
- 板橋区受験生チャレンジ支援貸付申請手続き支援事業
- ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

資金の貸付と
相談支援で、
安定した生活が
送れるようサポート
いたします。



アクティブシニア就業支援センター

- アクティブシニア就業支援事業
- WORK'S高島平

シニアの方々が
自分らしく楽しく
働けるよう、
これからも全力で
応援します！

記念誌をご覧いただいている皆さまへ

この記念誌は、私たちが地域や関係者の皆さまと70年ともに歩んできた証です。本誌を通していたばし社協との70年を振り返りつつ、積み上げてきた歴史の厚みとその成果を少しでも感じていただければ幸いです。そして、これからも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人板橋区社会福祉協議会 職員一同

社会福祉法人 板橋区社会福祉協議会

代表 TEL: **03(3964)0235**

〒173-0004 東京都板橋区板橋2-65-6 板橋区情報処理センター

【e-mail】 info@itabashishakyo.jp 【HP】 <https://www.itabashishakyo.jp>



いたばし協HP

■ 経営企画課

経営企画係

電話 03(3964)0235 (代表)

FAX 03(3964)0245

○東京都共同募金会板橋地区協力会

○板橋区社会福祉法人施設等連絡会事務局

○板橋区民生○B友の会事務局

権利擁護いたばしサポートセンター (板橋権利擁護センター)

電話 03(5943)7070

FAX 03(3964)0245

いたばし総合ボランティアセンター

板橋区本町24-1

電話 03(5944)4601

FAX 03(5944)4602

■ 地域福祉課

居場所づくり推進係

電話 03(3964)0236

FAX 03(3964)0245

地域でサポート推進係

電話 03(3964)1185

FAX 03(3964)0245

■ 地域共生課

地域共生推進係

電話 03(3964)0236

FAX 03(3964)0245

○さーどぶれいす@まもりん坊ハウス

住所 板橋区上板橋2-30-2

電話 03(6794)5757

○板橋区介護サービス全事業所連絡会事務局

電話 03(5943)7560

地域つながり隊推進係

電話 03(6905)7877

FAX 03(3964)0245

■ 相談支援課

事業推進係

(板橋区情報処理センター4階)

電話 03(3964)2222
(障がい福祉サービス担当)

03(3964)1666
(介護保険認定調査担当)

FAX 03(3964)1176

○板橋安心ネット事務局

電話 03(3964)2222

福祉資金係

(板橋区情報処理センター6階)

電話 03(3964)0556

FAX 03(3964)1176

アクティブシニア就業支援センター (はつらっシニアいたばし)

(板橋区情報処理センター6階)

電話 03(5943)1300

FAX 03(3964)1176

○アクティブシニア就業支援センター分室
(WORK'S高島平)

住所 板橋区高島平8-29-1

板橋区立高島平ふれあい館1階

電話 03(3935)1811